

令和5年度 学校評価

<p>教育目標 豊かな人間性をもち、たくましく生きる大瀬っ子を育てる</p> <p>経営の重点 明るく元気なあいさつのできる子を育成する。 自分にも人にもやさしい子を育成する。 最後までやりぬくたくましい子を育成する。</p>
---

評定(A・・・順調 B・・・おおむね順調 C・・・あまり順調でない D・・・順調でない)

	具体的項目	取組 自己評価 外部アンケートの結果	成果・改善	関係者評価委員の 評価・意見等	評定
1 学校 教育 目標	<p>○学校は、「児童が楽しく通える学校づくり」に努めている。</p> <p>○学校は、「明るく元気なあいさつのできるあかるい子」の育成に努めている。</p> <p>○学校は、「自分にも人にもやさしい子」の育成に努めている。</p> <p>○学校は、「最後までやりぬくたくましい子」の育成に努めている。</p>	<p>○取組 ・校訓、教育目標を生かした学校づくり ・教育活動の見直し ・校長講話、学級指導の充実</p> <p>○評価結果 教職員の肯定的評価(95%) 児童の肯定的評価(86%) 保護者の肯定的評価(93%)</p>	<p>【学校教育目標】 ・教職員、保護者の肯定的な評価が90%を超えているが、児童はやや低くなっている。詳細を見ると、元気なあいさつの自己評価が低く、声は出すものの、「元気な」という点において評価が下がったのではないかと考える。</p> <p>・委員会活動を中心に朝のあいさつ運動を積極的に行った結果、明るく元気なあいさつのできる児童が増えたが、活動のないときにも元気なあいさつを継続できるように努めていきたい。</p>	<p>○子どもたちの顔を見る限り、いい顔をしている子がほとんどである。達成感、成就感を味わわせてほしい。</p> <p>○学校を訪ねたときや校外で児童に会った際、気持ちよくあいさつしてくれている。</p> <p>●コミスクの目標と、学教教育目標との整合性がとれると活動がさらに充実すると考える。</p>	B
2 基本 的 生 活 指 導 生 徒 指 導 生 活 習 慣	<p>○学校は、いじめ・不登校のない温もりのある学校づくりに努めている。</p> <p>○学校は、児童のことをよく理解し、相談事や悩み事などに適切に対応している。</p> <p>○学校は、きまりや社会のルールを守ることなど、規範意識を育てる教育に努めている。</p>	<p>○取組 ・心のアンケートの実施・教育相談 ・毎月の生活習慣調査 ・あいさつ運動の実施</p> <p>○評価結果 教職員の肯定的評価(97%) 児童の肯定的評価(80%) 保護者の肯定的評価(93%)</p>	<p>【生徒指導・基本的な生活習慣】 ・日頃から児童の観察や児童理解に努めるとともに、生活リズムチェックカードや心のアンケートを活用し、規則正しい生活の定着といじめのない学校を目指してきた。今年度、今のところいじめの事例はない。</p> <p>・悩みや困ったことを先生に相談しているが61%と低い。必要に応じて教育相談やケース会議を実施し、課題の早期把握に努めていたが、より児童から話しやすいような相談しやすい雰囲気づくりに努める必要がある。</p>	<p>○低学年から高学年までまとまりがあり、みんな仲のよい印象を受けている。</p> <p>●相手が、だれであれ相談できる相手がいればよいと思う。情報を共有して協力して取り組んでほしい。</p> <p>●生活リズムチェックの結果を保護者への報告するなど、学校・地域・家庭で協力して取り組んでいけるとよい。</p>	B
3 学 教 育 指 導 程	<p>○学校は、児童に分かりやすい、丁寧な授業に取り組んでいる。</p> <p>○学校は、地域の特色を生かした、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組んでいる。</p>	<p>○取組 ・一人一人に対応した授業改善 ・補充学習や個別指導による基礎学力の向上 ・家庭学習時間調査の実施</p> <p>○評価結果 教職員の肯定的評価(90%) 児童の肯定的評価(93%) 保護者の肯定的評価(94%)</p>	<p>【教育課程・学習指導】 ・主体的・対話的で、深い学びの授業改善に努め、昨年度に引き続き、特に表現力の育成に努めた。自分の考えを進んで述べたり、友達の意見を共感的に聞く態度が育った。</p> <p>・ICTを活用し表現力の育成を図ったり、個別最適な学びに取り組めるようにしたりして、基礎学力の向上を図った。</p> <p>・総合的な学習の時間や社会科の時間を中心に、ふるさと大瀬を知り、ふるさとを誇りに思う児童の育成に努めた。学習発表会では、児童が学んだことを保護者や地域に発信した。</p>	<p>○郷土愛を育むような授業を充実させてほしい。学習発表会という機会が地域教育に大いに影響しているように感じた。伸び伸びと発表しているのを見て安心した。</p> <p>○読書を大切に活動は今後も続けてほしい。</p> <p>●ICTを活用する機会が増えてきているように思う。技能の習得も必要だが、情報の取捨選択や善悪といった判断力を身につけてほしい。</p> <p>●自分の言葉で表現する子どもを育ててほしい。</p>	A

	具体的項目	取組 自己評価 外部アンケートの結果	成果・改善	関係者評価委員の 評価・意見等	評定	
4	健康・安全管理	<p>○ 学校は、児童の保健指導や給食指導など、児童の健康・安全教育に適切に取り組んでいる。</p> <p>○ 学校は、施設や教育環境を児童の安全・安心な学校生活のために適切に管理している。</p>	<p>○取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保健指導、給食指導の実施</li> <li>・避難訓練の計画的な実施</li> <li>・施設や学校環境の安全点検</li> </ul> <p>○評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の肯定的評価(95%)</li> <li>児童の肯定的評価(84%)</li> <li>保護者の肯定的評価(98%)</li> </ul>	<p>【健康・安全管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムチェックカードで早寝早起き朝ごはんの習慣化を図っている。</li> <li>・ユーチューブ、ゲーム等メディアを見る時間が増えている。内容も不適切と思われるものがあるようである。</li> <li>・定期的な安全点検や日々の保健指導の徹底に努めることで、児童は大きなけがをすることもなく元気に活動することができた。</li> </ul>	<p>○全員が元気に登校できているが、健康・安全面については、常に留意していくことが大切である。災害に対する備えも必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●YouTube、ゲームの利用等は学校と家庭でルールが守れるようにしていくとよい。</li> <li>●睡眠時間をしっかりと確保して、規則正しい生活習慣を身につけることが大切である。</li> <li>●子どもたちの体力の低下が心配である。授業や遊びを通して様々な経験をさせていくとよい。</li> </ul>	B
5	地域との連携 保護者	<p>○学校は、教育方針や学校での子どもたちの様子を保護者や地域に分かりやすく伝えている。</p> <p>○学校は、望ましい家庭学習や読書活動、生活習慣の育成を図るために、保護者や地域と連携・協力した教育に取り組んでいる。</p>	<p>○取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、学年だより、ホームページ等での情報発信</li> <li>・年間を通じた地域の方や老人会との連携</li> </ul> <p>○評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の肯定的評価(95%)</li> <li>児童の肯定的評価(84%)</li> <li>保護者の肯定的評価(96%)</li> </ul>	<p>【保護者・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、マチコミメール、学校便り、学級通信等で情報を発信した。コミスクの活動は、自治センター報で発行していただいた。</li> <li>・週末には、教冊の本を持ち帰ることを習慣化し、読書ができていてと答えた児童が92%になった。読書をする週間がついてきている。</li> <li>・コミュニティスクールになり、地域コーディネーターの尽力で総合的な学習の時間のゲストティーチャーや果樹農家との交流が円滑に行われている。継続してきた老人会とのしめ縄飾りづくりなども行うことができた。</li> </ul>	<p>○今年度から地域でも行事が再開され、子どもたちとの交流ができるようになった。地域で子どもを育てていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の活動に協力できる組織は地域にいくつかある。授業だけでなく、見守りなどの安全面についても声をかけて連携できるとよい。</li> </ul>	A
6	その他	<p>○保護者として、学校からのたより(学校だより・学級だより・保健だより等)や配布物などをきちんと読んでいる。</p> <p>○保護者として、学校行事やPTA行事に積極的に参加している。</p> <p>○保護者として、児童から学校の様子を聞いたり、悩みの相談にのったりしている。</p>	<p>○取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日、個人懇談等での家庭との連携</li> <li>・運動会、学習発表会等の学校行事への協力依頼</li> </ul> <p>○評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的評価(79%)</li> <li>保護者の肯定的評価(96%)</li> </ul>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域の方々が協力的で、参観日の出席率も高く、運動会や学習発表会等も多くの方々に観覧していただいた。</li> <li>・保護者アンケートの記述内容から、学校行事や教師の子どもたちへの接し方など、今後の参考になる励ましの言葉が多かった。積極的に子どもたちの良さを認め、健全な成長につなげていきたい。児童間のトラブルを心配する声も聞かれた。適切に指導するとともに、児童・保護者と丁寧に対応する必要がある。</li> </ul>	<p>○保護者も学校に協力的な方が多い印象を受ける。今後もよりよい信頼関係を築いてほしい。日頃から保護者・地域の方々と連携をとっていくことが大切である。</p> <p>○児童間のいじめやトラブルも少ないように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●行事の参加の有無はコロナを経て偏りが大きくなったように思う。親が背中を見せ、子どもを地域に連れ出さなければならぬと感じている。</li> </ul>	B

評定

A 4点 B 3点 C 2点 D 1点で計算

A 90%以上 B 70~89% C 50~69% D ~49% (得点率)